

高度安全実験 (BSL-4) 施設に関する 今後の方針

平成28年12月15日

長崎大学

長崎大学の今後の方針

今回、国の関与の明確化と、地元自治体からの施設整備計画の事業化への協力合意を踏まえて、長崎大学としては、施設設置計画を本格的に進めたいと思っています。

地域の理解については、施設設置予定地である坂本キャンパス周辺にお住まいの方々の中には不安や疑問をお持ちの方が少なくないことから、引き続き、地域との信頼関係の構築を図っていきます。

特に、「地域連絡協議会」の枠組みについては、様々な情報の開示や提供と並び、地域の方々のご意見を施設設置計画に反映させる上で中核的な役割を果たすものとして、これまで同様、長崎県及び長崎市のご協力の下、その時々状況に応じた運営等の見直しをしながら、継続させていきます。

(参考)これまで地域の方々から出された施設整備への具体的な要望事項の例

- ・ 病原体を漏出する施設は、市街地には設置しないでほしい。
- ・ 施設の入館口にはX線などによる手荷物検査装置を設置してほしい。
- ・ 研究目標、過程、成果、課題等の「見える化」を可能な限度で開示する「オープン展示室」を設置してほしい。

長崎県及び長崎市から要請に応えた実施体制

施設整備の事業化にあたっては、長崎県及び長崎市から要請された①世界最高水準の安全性の実現、②地域との信頼関係の構築及び③国と連携したチェック体制の構築、などを実現する体制を構築します。体制の詳細については、今後、基本構想を策定する中で具体化していきます。

① 世界最高水準の安全性の実現

- ・ 事業実施主体として、国の監督、指導、助言のもと、設計・建設段階から、国内外の先進的な事例を取り入れて、世界最高水準の安全確保に責任を持って取り組みます。
- ・ 稼働後も、最新の情報に基づき、安全対策の充実を図ります。



例えば、学内外から、安全対策等の専門家を招聘した専門家会議を設置して、その指導のもと、大学の取組みを推進します。

② 地域との信頼関係の構築

- ・ 地域住民の方々のご疑問やご不安を真摯に受け止め、徹底した情報開示と説明により、「地域との信頼関係の構築を通じた地域との共生」に取り組んでいきます。
- ・ 特に、「地域連絡協議会」の枠組みについては、様々な情報の開示や提供と並び、地域の方々のご意見を施設設置計画に反映させる上で中核的な役割を果たすものとして、これまで同様、長崎県及び長崎市のご協力の下、その時々状況に応じた運営等の見直しをしながら、継続させていきます。



今後も、地域住民の皆様の協力を得て、「地域連絡協議会」を続けていきます。また、適宜、説明会やシンポジウム等を開催し、大学の取組みを報告します。

③ 国と連携したチェック体制の構築

- ・ 施設の安全管理と合理的運営を監査するバイオセーフティオフィサーを学長の直下に独立して配置するなど、国が構築する第三者チェックの仕組みとも連携を図りながら、自らの取組みを厳しく監視します。



推進体制から独立したバイオセーフティオフィサーを中心とした施設の安全監査体制を学内に構築し、国と連携していきます。3

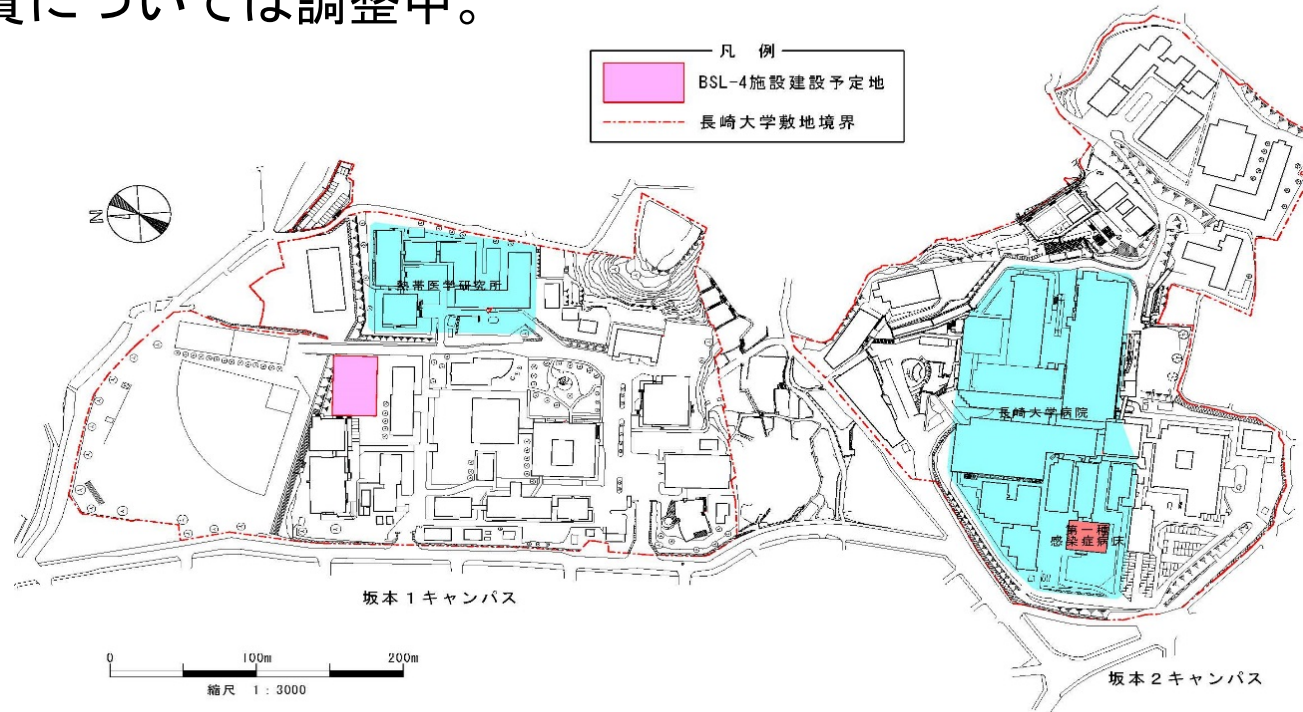
高度安全実験 (BSL-4) 施設の概要

(1) 施設名称
長崎大学高度安全実験 (BSL-4) 施設 (仮)

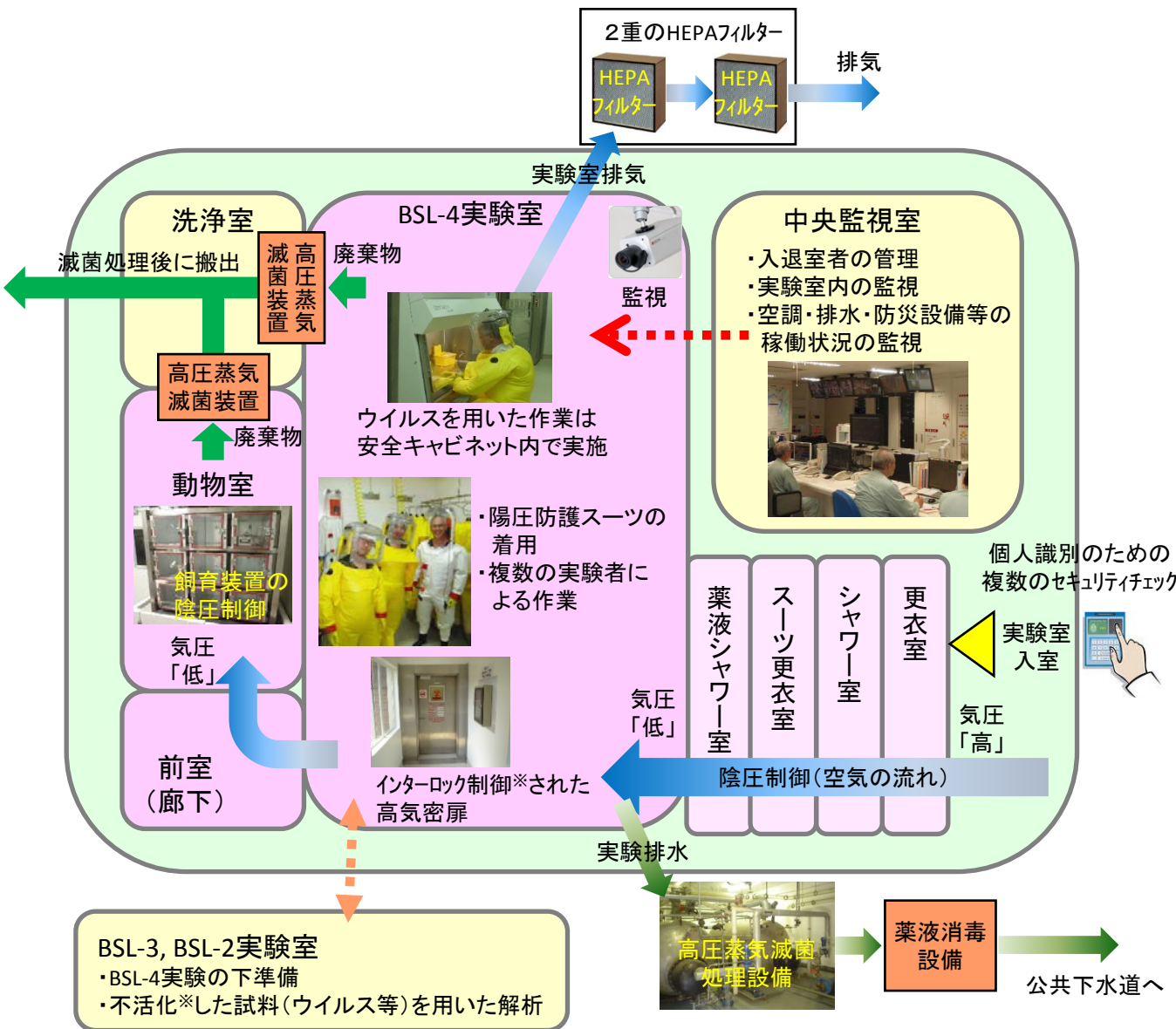
(2) 施設規模等
延べ面積：約4,000m²
構造：免震構造

主要室	備考
BSL-4 実験室	<ul style="list-style-type: none">・ 特定一種病原体を用いた感染実験を行う・ 動物室を有する実験室2系統
BSL-3, BSL-2 実験室	<ul style="list-style-type: none">・ BSL-4実験室で用いる細胞の培養等の実験の下準備・ BSL-4実験室で不活化したウイルスの試料の解析等を行う

※ 建設費については調整中。



BSL-4施設の安全対策



BSL-4施設の安全対策

- **Box in Box構造**
実験室の周囲に廊下等の緩衝ゾーンを設ける
- **陰圧管理**
室圧差を作り、危険度の低い場所から高い場所への一定方向の気流を作る
- **ろ過排気**
室内空気は、最終的にHEPAフィルターを通した上で外部へ排出
- **滅菌排水**
実験室内の排水は全て二度の滅菌処理
- **滅菌廃棄**
実験室内の廃棄物は全て滅菌処理

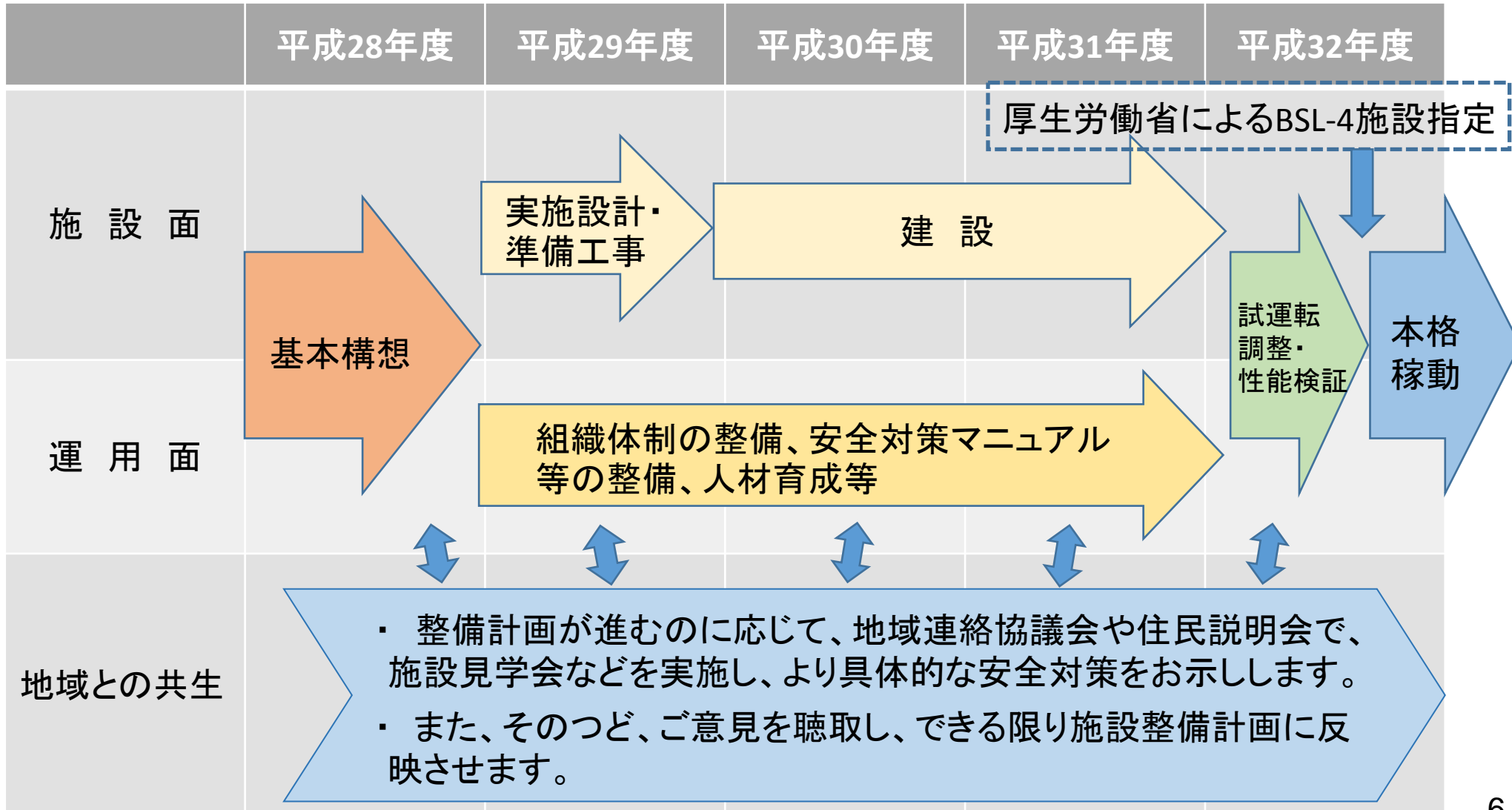
BSL-4施設設置に係る主な基準

- **国内法令**
感染症法、建築基準法、消防法等
- **国内外の基準・マニュアル・ガイドライン等**
国立感染症研究所病原体等安全管理規定、実験室バイオセーフティ指針(WHO)等

- ※不活化
ウイルスの感染力や毒性を失わせること
- ※インターロック
部屋の片方の扉が閉まっていないともう片方の扉が開かない仕組み

施設整備の全体スケジュール(案)

- 今後、以下のスケジュールで、BSL-4施設整備計画を推進します。
- 計画に必要な予算については、文部科学省と相談中です。



基本構想の検討スケジュール(案)

	平成28年度					平成29年度	
	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降	
基本構想検討業務							
関係省庁 行政機関							
地域連絡協議会		<p>※ 適宜、協議会を開催</p>					

実施を見合わせておりました地盤調査につきましては、施設設置計画の本格的な推進のために、別途委託業務として平成28年度内に実施致します。